

# プラスチック化学リサイクル研究会ニュース No.9

Research Association for Feedstock Recycling of Plastics, Japan

## プラスチック化学リサイクル研究会平成14年度総会

平成 14 年 6 月 7 日 (金) 東京・弘済会館にて、総会および記念講演会が行われました。総会では、下記の各議題について報告および審議がなされ、承認されました。1, 会則改定、2, 役員人事、3, 平成 13 年度事業報告、4, 平成 13 年度会計報告、5, 平成 14 年度事業計画、6, 平成 14 年度予算案

以下に承認されました会則改定、新役員人事および平成 13 年度会計報告について概略を示します。

会則改定について、新たに以下二項目の追加が承認されました。

(事業) 第 3 条 4. プラスチック化学リサイクルに関する優秀な業績に対する表彰

(会員) 第 10 条 6. 名誉会員は、役員会の推薦を受け総会で認められた者とする。

新役員人事について、下記役員が平成 14 年度役員および名誉会員 (○は新任) として承認されました。

会長 ○奥脇昭嗣・・・・・・・・・・東北大学

副会長○阪田祐作・・・・・・・・・・岡山大学

藤岡達慈・・・・・・プラスチック処理促進協会

幹事長 ○加茂 徹・・・・・・・・・・産業技術総合研究所

幹事 上野晃史・・・・・・・・・・静岡大学

○奥 彬・・・・(財)生産開発科学研究所

梶光雄(東京事務局) 日本省エネ環境製品

黒川秀樹・・・・・・・・・・埼玉大学

佐古 猛・・・・・・・・・・静岡大学

須田哲雄・・・・・・・・塩ビ工業・環境協会

関根 泰・・・・・・・・・・早稲田大学

多賀谷英幸・・・・・・・・・・山形大学

○辻 俊郎・・・・・・・・・・北海道大学

中野勝之・・・・・・・・・・福岡大学

荷福正隆 プラスチック処理促進協会

幡手泰雄・・・・・・・・・・鹿児島大学

松本佳久・・神奈川県産業技術総合研究所

吉岡敏明(事務局)・・・・・・・・・・東北大学

監査 齊藤喜代志・・・・・・・・(株) 苫小牧清掃社

村田勝英

名誉会員○明島高司・・・・・・・・・・山口東京理科大学

○藤元 薫・・・・・・・・・・北九州市立大学

平成 13 年度会計収支について、下記内容で審議、承認されました。

《収入の部》

(単位:円)

平成 13 年 3 月 31 日現在

科 目	予 算	実 績	備 考
13 年度会費 (法人)	1,400,000	1,150,000	22 団体、23 口分
13 年度会費 (個人)	400,000	400,500	136 名分、うち学生 5 名
12 年度会費 (個人)	0	69,000	23 名分
14,15,16 年度会費 (個人)	0	9,000	
雑収入	50,000	52,000	要旨集等
銀行利息	300	112	
討論会残金		154,685	
前年度繰越金	436,225	436,225	
合 計	2,286,525	2,271,522	

《支出の部》

科 目	予 算	実 績	備 考
総会・講演会経費	150,000	152,518	第3回総会・講演会費
討論会経費	200,000	200,000	第3回討論会費
資料作成費	40,000	30,000	第3回総会・講演会資料費
通信費	200,000	101,840	切手, 葉書, 郵送料, 電話
印刷費	100,000	300	郵便振替用紙
原稿料	40,000	20,000	ニュースレター
事務費	320,000	80,976	文具, コピー用紙,
人件費	250,000	269,000	事務局アルバイト料
交通費	300,000	127,180	幹事会旅費
幹事会経費	100,000	102,187	幹事会会場費等
次回国際会議準備金	250,000	250,000	ISFR2002 開催経費積立金
国内討論会準備金	0	154,685	
その他	5,000	1,477	銀行振込手数料
次年度繰越金	331,525	781,359	
合 計	2,286,525	2,271,522	

【国際会議準備金】

	収入	支出	残高
今年度までの積立金			1,400,000
ISFR' 99 残金	237,039		1,637,039
利息	110		1,637,149
2nd ISFR 開催経費 (ベルギーへ送金)		1,250,000	387,149
海外送金手数料		8,100	379,049
次年度へ繰り越し			379,049

総会後には、恒例となっております講演三件が行われました。講演題目、講演者を以下に示します。

1. 廃プラ熱分解油, ボイラー, ディーゼル発電用燃料の TR 原案

日石テクノロジー (株)

プロセス事業部長 田中 真人 氏

2. 容器包装プラスチックのリサイクルの現状

(財) 日本容器包装リサイクル協会

プラスチック容器事業部長 池田 俊一 氏

3. ポリエステル製品の循環型社会を目指した取組

帝人 (株) 常務取締役 奥村 宣也 氏

研究会各会員の皆様が日頃取り組んでいるプラスチック化学リサイクル研究活動に参考となる貴重なお話を聞くことができました。各氏とも、今後よりいっそう強く望まれる資源循環型社会の構築を目指して取り組まれている活動内容についてのご講演でありました。ご講演していただいた方々に紙面を借りて感謝いたします。